



世界銀行グループ

1

参加費無料。以下のQRコードから事前登録（宿泊予約も可能）をお願いします。



UR Himeji+

Understanding Risk Global Forum

世界銀行・防災グローバルフォーラム（※）

UR2024@兵庫県姫路市

Tradition. Innovation. Resilience.

伝統・革新・強靱性

2024年6月16～21日

【お問い合わせ先】
世界銀行 東京防災ハブ

東京事務所（代表）

03-3597-1320
drmhubtokyo@worldbank.org
03-3597-6650
ptokyo@worldbank.org

（※）正式名称：「リスクを理解する：グローバルフォーラム2024」

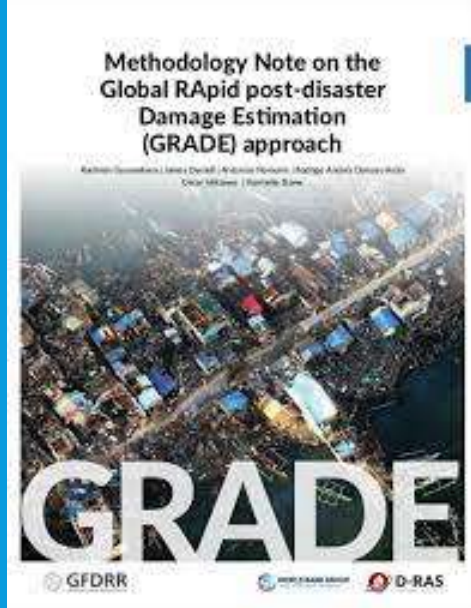
UR2024 : 伝統・革新・強靱性

2

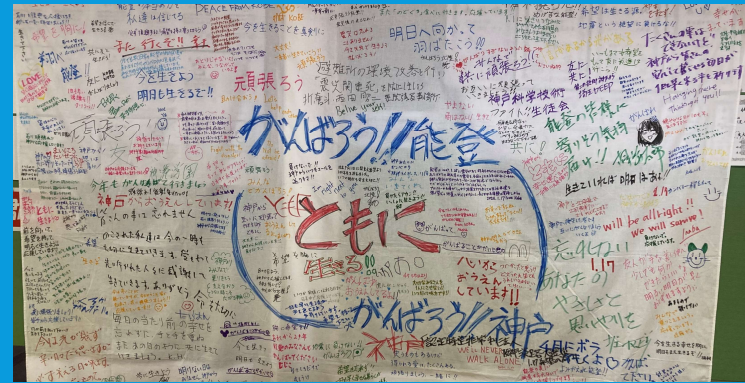
伝統 : tradition

革新 : innovation

強靱性 : resilience



航空写真などを活用した被災額の迅速な推計方式に関する世界銀行報告書



輪島中学校にて撮影 (2/11)

能登半島地震を受けた姫路市内高校生による姫路駅前での募金活動 (3/9)

UR2024：主要日程 (調整中・変更の可能性あり)

	6/16 (日)	6/17 (月)	6/18 (火)	6/19 (水)	6/20 (木)	6/21 (金)
午前			全体会合 兵庫県知事 登壇予定 分科会	全体会合 分科会	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタディツアー (県内防災施設など) ・ 研修・ワークショップなど 	
昼			ランチ セッション	ランチ セッション		
午後	シンポジウム 姫路市長 登壇予定	開会式 (夕刻)	市長ラウンド テーブル 姫路市長 登壇予定 分科会	分科会 閉会式		
			防災関連企業・団体などによるパネル展示			

- ◆ 能登半島地震の犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表すると共に、被災者、ご家族、関係の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。
- ◆ 阪神・淡路大震災から30年を前に控え、世界銀行は兵庫県姫路市でUR2024を開催することになりました。本会議では、日本国内はもとより、世界各国から防災に携わる政府・地方自治体、企業・専門家、CSO（市民社会）など関係者が集まり、これまでの経験を踏まえつつ、政策面や現場での対応などについて議論します。
- ◆ URグローバルフォーラムの開催実績（2020年はオンライン開催）
ワシントン（2010） ・ ケープタウン（2012） ・ ロンドン（2014）
ベネチア（2016） ・ メキシコシティ（2018） ・ フロリアノポリス（ブラジル：2022）

UR2024：報道、政府・知事・市長コメント

取材に応じるハニス・ファン・ブロンクホルストさん＝東京都千代田区、世界銀行東京事務所



国連の仕組みである世界銀行（本部、米ワシントン）が主催し、世界各県の防災について知恵を出し合う国際会議「グローバルフォーラム2024」が来年月、姫路市で開かれることになった。オランダ出身で、世帯で防災を担当する多ローバルディレクター、ハニス・ファン・ブロンクホルストさんは、会議への想いを語った。

（永田 悠）

来月6月、姫路で世銀国際会議開催

グローバルディレクターに聞く

「阪神・淡路大震災を決めた理由は一語で説明するのは難しい。日本は世界的に最大級の災害を経験してきた。1995年に起きた阪神・淡路大震災は、日本だけでなく世界の防災に対する見方を変えた。パラダイムシフト（価値観の転換）が起こったと言える。災害発生前に備える重要性を促した。震災発生から30年となるのを前に、被災地の兵庫で学ぶ（と）は多い」。今回の会議で特に話したい。一帯の会議で特に話したい。学者や政府関係者、非政府組織（NGO）、民間企業家や投資家の努力は「一語で無に」。豪雨、温暖化：知恵出し合う場に

減災、兵庫から学ぶことが多い

松本総務大臣・世界銀行国会議員連盟会長



阪神・淡路大震災の貴重な教訓を広く世界で生かすべく、世界銀行主催の自然災害リスクへの理解を深めるグローバルフォーラムが兵庫県で開催される

世界銀行・IMF合同開発委員会 日本国（財務省）ステートメント
防災グローバルフォーラムを兵庫県姫路市で開催する予定であり、多くの国の方々に参加頂けることを期待します

兵庫県 齋藤知事



災害前より良い社会を目指す創造的復興“Build Back Better”の思いと理念を共有できる場ともなるように全面的にサポートしたい

姫路市 清元市長



開催を支援するとともに、会議での議論や知見を災害対策に活かしてまいります

神戸新聞記事

ご参考

世界銀行 (5機関から構成)

IBRD 国際復興開発銀行 (世界銀行本体)	IDA 国際開発協会	IFC 国際金融公社 (ディオップ長官)	MIGA 多数国間 投資保証機関 (俣野長官)
1944年設立	1960年設立	1956年設立	1988年設立



目的

住みやすい地球上での貧困削減・繁栄の共有
To end extreme poverty and boost prosperity on a livable planet

対象国

中所得国

最貧国 (アフリカ・太平洋島国など75か国)

途上国に投資する
民間企業

途上国に投資する
民間企業

支援

政府向け融資
1950~60年代、製鉄業
の近代化や名神・阪神高
速等の建設資金を融資

政府向け低利融資・
無償 (グラント)
IFC・MIGAとの連携
による民間向け支援

企業への出資
企業への融資

政治リスクの保証
信用補完

バンガ総裁

2023年6月、第14代総裁として就任 (任期5年)。インド出身 (米国籍)。直近はジェネラル・アトランティック副会長、マスターカードCEO。

ICSID

投資紛争解決国際センター
1966年設立
(国際投資紛争の調停・仲裁)

政府を通じた支援

バンガ総裁訪日（2024年1月）：報道・要人面会 8



「途上国負担考慮を」
気候変動対策巡り
世銀総裁

世界銀行のバンガ総裁が23日、社会課題などを議論する東京都内のイベントに出席し、気候変動対策を巡っては「新興・途上国の負担を考慮すべきだ」と訴えた。「グローバルサウス」と呼ばれる新興・途上国は今後、世界経済を牽引するとみられており、環境対応と経済成長を両立させる対策が必要との認識も示した。

バンガ総裁は、気候変動対策を進める上で、先進国とグローバルサウスの間に「不公平があってはいけない」と指摘。これから成長を目指す途上国に対し、先進国が対策を押し付けることなく「相互理解を深め協力しあうべきだ」と強調した。

産経新聞記事

「災害から立ち直る力強い」

世銀総裁 能登地震復興に期待

世界銀行のアジエイ・バンガ総裁(64)は22日、東京都内で報道各社のインタビューに応じた。写真に「悲劇が登半島地震について、能登半島地震について、悲劇だが、日本は災害から立ち直る力が強い」と述べ、早期の復興に期待を示した。



「元マスターカードCEO（最高経営責任者）のバンガ氏は昨年6月に世銀総裁に就任。今年には世銀グループで低所得国への財政支援を行う国際開発協会（IDC）が増資交渉を行う年にとり、世界2位の出資国



読売新聞記事



である日本に増資を求めるため来日、22日には岸田首相とも面会した。

バンガ氏は日本が戦後、世銀による融資で新幹線を開通させたことに触れ「適切な時に他の人々を助けることは非常に重要だ」と強調。出資継続への理解を呼びかけた。

また米大統領選でトランプ前大統領が再選される可能性について問われ、「彼が大統領になったら何をやるかは予測不可能だが、開発の必要性は理解している

世界銀行：兵庫県内プロジェクトへの協力

調印日	プロジェクト名 ～ いずれも、国際復興開発銀行（IBRD）による融資 ～	金額 万ドル	金額 億円
1958/8/18	神戸製鋼 灘浜工場高炉・脇浜工場製鋼（※） ※現HAT神戸（人と防災未来センター・JICA関西センターなど）	1,000	36
1959/11/12	富士製鐵・姫路市内広畑工場（高炉・転炉分塊）	2,400	86
1960/3/17	日本道路公団・尼崎一栗東間高速道路	4,000	144
1961/11/29	日本道路公団・一宮一栗東、尼崎一西宮間高速道路	4,000	144
1965/9/10	阪神高速道路公団・神戸市高速道路1号	2,500	90

◆世界銀行の対日借款は、兵庫県関係5件・1.4億ドル（500億円）を含め、計31件・8.6億ドル（3,106億円：民間企業向けは日本開発銀行経由）。返済完了は1990年。